

研修レポート

ニシキ精機

山田 昌義

“ METALEX 2004 ” について

“ METALEX 2004 ” は昨年 11 月 18 日～21 日の期間、BITEC(バンコク・インターナショナル・トレード・エキシビジョン・センター)で開催していました。

この展示会は“アジアの最大の機械・工具・金属加工技術の展示会”として、30ヶ国から1900社以上が出展して3000種類を超える工具・機械等を展示しています。また、前年度の観客動員数は5万人を超えたそうです。この展示会は昨年日本で行われた“JIMTOF”を想像してもらえればよいと思います。“JIMTOF”もそうですが、とても一日で全てを見て回る事ができない広さでした。

ホテルから1時間位フリーウェーを走ったところにBITECがありました。広さはビックサイトと同じ位のかなり立派な建物です。私達が訪れたのは日曜日だったせいもあり大勢の方が見学しに来ていました。ホールは、海外メーカの機械・工具、チューブ&ワイヤー工具、切断&溶接工具、ポンプ&バルブ工具、日本の機械・工具等の6のゾーンに別れていました。“アジア最大の展示会”と言うだけあって、ブースの数も多く、お客も国際色豊かで多くアジアの方が来ているようでした。

個々に別れて約1時間半位見学をしました。

私も一人で会場を大体一周しましたが、とにかく広いので正直疲れました。

タイで開催の展示会と言う事もあるでしょうが、この展示会の出展リストを見ても半分以上はタイの企業が出展をしています。マシニングセンター、NC旋盤といった機械はタイ独自のメーカーはあまりない様でしたが、色々な工具等はタイの会社はかなりあるようでした。そのような面を見ましても、タイの技術力も日々向上、進歩しているのを感じました。

“日本イノベーション&テクノロジー”というゾーンでは日本の多くの企業が出展をしていました。その中で日本のNC旋盤メーカーのシチズン、スター精密のブースで色々話が聞けました。中でもシチズンのNC旋盤のある機種はタイで生産れているので価格もかなり安いようです。(次の日、シチズンのその機械を作っている工場を見学させてもらいました。)また、この機械はアジア全般に出荷されている様で、タイ国内をはじめ中国にはかなりの台数が出ているようです。海外の日本の企業が元気な事もあり、機械等の設備投資は好調との事でした。

最後になりますが、この展示会をはじめ今回の海外研修は色々と勉強になる事が多かった様に思います。バンコクは予想以上に活気に溢れていて、日本とほとんど変わらない状況に驚きましたし、急成長しているのを肌で感じる事が出来ました。

また、現地で頑張っている日本企業・日本人のすごさにも感激しました。

街中では最新の日本車が走り、日本のコンビニ、デパートがあり、郊外には日本企業が工業団地を形成しております。そんな日本の製品等が溢れているのを見ると日本という国はすごい国だと改めて思ったりもしました。また、そこで出会う日本人の方が異国の地でたくましく仕事をしているのにも、大変刺激を受けました。

私もなかなか海外へ出る機会がありませんが、行けば必ず何かのインパクトがあり、日本では感じられないものがあります。機会があれば海外にどんどん出てみる事が大切だと改めて感じさせられた海外研修でした。